



令和6年度 ふるさとしかべ 応援寄附金の使い道

ふるさとと納税制度とは？

「ふるさと」を想う納税者の皆さんが、自らの意思で納税対象を選択し、自治体はその「思い」に応えられる施策に生かしていくことで、地域の活性化はもとより、地方自治への関心を高めてもらう制度です。

「しかべ」には住んでいないけれど、ふるさとに貢献したいという方々をはじめとして、ふるさとを元気にしたいという想いを寄附金という形で応援していただく仕組みです。寄附をしていただくと、次ページ記載の6項目の「寄附金の使い道」を指定できます。

また、寄附金を有効に活用したまちづくりを推進するため、「鹿部町ふるさと納税基金」を設置し、寄附金のうち一部を積み立て、次年度以降の事業に活用させていただきます。

返礼品

町外にお住まいの個人の方にご寄附をいただいた場合、返礼品を贈っています。写真は返礼品の一部です。



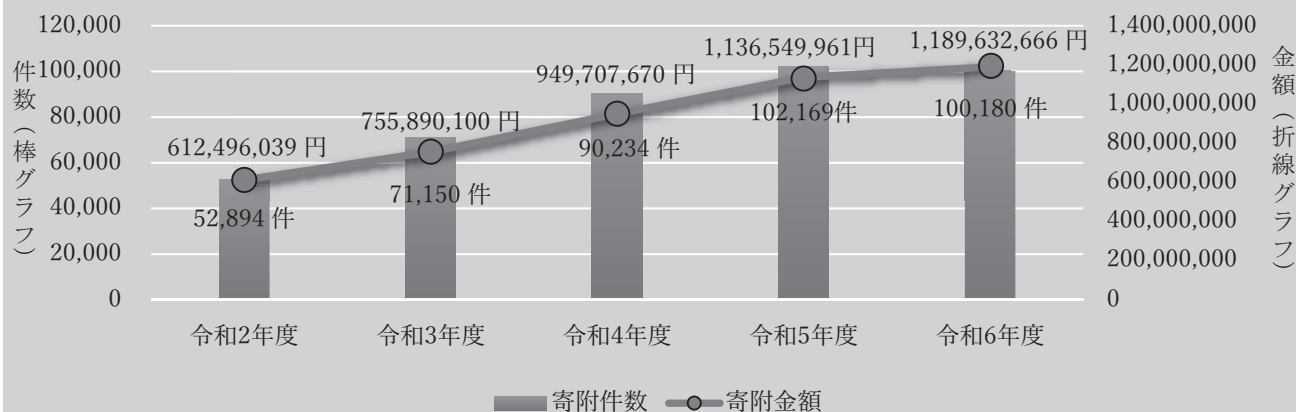
町外在住のご親戚・お知り合いに

詳細は町公式ホームページをご覧ください。

※右の二次元コードから閲覧できます！



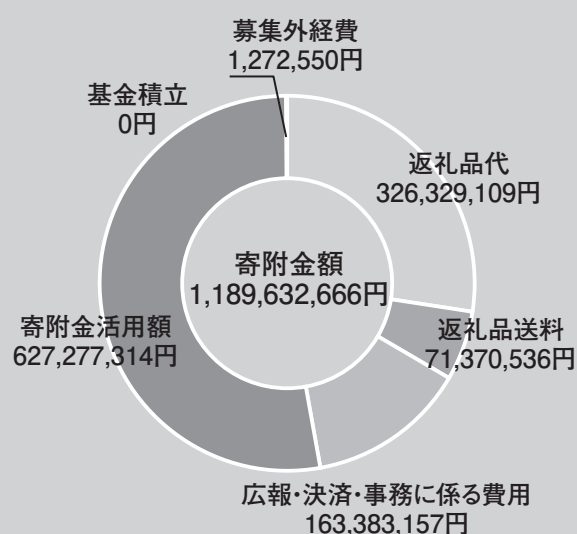
ふるさとしかべ応援寄附金の推移（年度別）



ふるさとしかべ応援寄附金の使い道と事例について

使い道	主な内容	寄附金活用額
①教育、スポーツおよび文化・芸術に関する事業	総合体育館運営事業・学校給食センターの運営、維持管理業務・小中学校施設維持管理業務等	215,788,839円
②健康、福祉および医療充実に関する事業	いこいの湯運営維持管理業務・鹿部町運営維持管理業務・定期予防接種事業等	71,881,758円
③地域産業の振興に関する事業	拠点観光施設運営業務・中小企業振興対策事業・プレミアム付商品券販売事業等	55,129,327円
④地域防災に関する事業	消火栓新設工事・防災行政無線維持管理等事業・北海道駒ヶ岳観測体制等強化事業等	26,734,365円
⑤自然環境保全に関する事業	町有林間伐事業・漁業系廃棄物リサイクル施設修繕事業・被害跡地造林箇所保育事業等	78,015,536円
⑥町長にお任せの事業	教育費負担軽減事業・給食無償化事業・総合的な地域公共交通対策の検討等	179,727,489円
合計		627,277,314円

寄附金額（a）		1,189,632,666円
経費総額（b）		562,355,352円
（内訳）	返礼品代	326,329,109円
	返礼品送料	71,370,536円
	広報・決済・事務に係る費用	163,383,157円
	募集外経費	1,272,550円
差引（a）－（b）		627,277,314円
寄附金活用額		627,277,314円
基金積立		0円



事例 ①教育・スポーツおよび文化・芸術の振興に関する事業

学校給食センターの運営、維持管理業務

学校給食センターでは、子どもたちに必要な栄養をバランスよく摂取できる給食を提供することにより、健康な心身の発達を支えるとともに食に関する理解を深め、健全な食習慣の形成を促進することなどを目的としており、鹿部町らしい給食として、たらこ、たこ、昆布などの新鮮な地元食材をふんだんに活用するなど、栄養満点な献立を提供しています。

子どもたちに安心安全でふるさとの味を堪能できる豊かな給食を提供するため、施設の定期的な保守点検や修繕などの施設維持管理に寄附金を活用しました。



調理されたものが
子どもたちの手元へ

おかわりしている
子どもたち



子どもたちみんなが安心して
いっぱいおいしい給食を食べてく
れて嬉しいです。

調理員さん



事例 ②健康・福祉および医療充実に関する事業

いこいの湯運営維持管理業務

町では、満60歳以上の町内在住の方を対象とした温泉施設「鹿部町いこいの湯」を運営しています。

心身の健康維持増進、福祉の向上を目的とした施設であり、コミュニケーションの場にもなっております。快適な環境で利用していただくため施設整備の定期的な保守点検や修繕、部分交換など施設の維持管理に寄附金を活用しました。



利用者の方

他の利用者ともお話しできるし、
温泉にも入って嬉しいです。



いこいの湯

事例 ③地域産業の振興に関する事業

観光PR事業

鹿部町の観光スポットや特産品を多くの方に知っていた
だき、来町のきっかけづくりや販売促進となるよう、多
方面において観光PR事業を行うため寄附金を活用しました。

○PR内容

- ・伊藤大海投手が勝利投手となった際の鹿部町
特産品プレゼント企画(ラジオ局とのコラボ企画)
- ・鹿部町PRテレビコマーシャル放送
- ・民間バスの車体に鹿部町のPR広告掲載
- ・間歇泉100周年記念ノベルティタオル作成



ラッピングされたバス

鹿部の魅力をいろんな人に
知ってもらえて幸せです！

役場観光担当者

事例 ④地域防災に関する事業

消火栓改修工事

町では、「年次更新工事」に基づき、老朽化した消
火栓本体の交換を定期的に行っています。有事の際に
対応できるようにするため、消火栓改修工事に寄附金
を活用しました。

また、消火栓改修工事のほかにも防災行政無線維持
管理等事業、消火栓新設工事、北海道駒ヶ岳観測体制
等強化事業に活用しています。



改修後の消火栓

現場での消火活動がより迅速に！
町民の安心・安全につながるので、
大変ありがたいです。



消防士さん

事例 ⑤自然環境保全に関する事業

林道管理事業

漁業が主体の鹿部町では、山からの栄養分や有機物が川を伝わって海に流れることで豊漁に繋がるとして、森林整備に力を入れています。

ただ、近年は未整備の森林が増え、更新が必要な森林が多い中、森林整備や環境整備を進めるうえで林道管理は不可欠な業務です。そのため、林道での事故防止や崩落等の防止を図り、森林所有者が安全で円滑に森林施業を行えるよう、林道管理業務に寄附金を活用しました。



林道管理事業



林道管理事業者

道が整備されて「安心して通れる」との声もあって、地域の役に立てる仕事ができたと実感があります。

事例 ⑥町長にお任せの事業

子ども未来きらきらプラン事業

子育て世帯の保護者等の経済的負担軽減を図るとともに、子育て環境のさらなる向上を目指し、令和5年度から「子ども未来きらきらプラン」をスタートしました。子どもの誕生から巣立ちまでロングランの支援を実施しています。

幼児期・義務教育期には、教育費を無償化する「教育費負担軽減事業」、「給食費無償化事業」と中学校・高校を卒業する際に100,000円を支給する「新生活応援給付事業」に寄附金を活用しました。



子ども未来きらきらプラン



養育費がほぼ無償で家計も助かっています！

保護者



給食をいっぱい食べる児童